

輸送

観客や大会関係者をスムーズに運ぶサービスを提供

選手村やホテルと競技会場などの間にオリンピック・ルート・ネットワークなどを設け、選手、メディア等の大会関係者毎のニーズに合わせた輸送サービスを提供する。

大会を観戦する観客のために、最寄りの駅から距離のある会場までの交通手段を用意する。

輸送支援スタッフ雇用

3万人日

輸送用バス借り上げ

2,200台

輸送用自動車

2,500台
(うち、500台は水素自動車)

オリンピック・ルート・ネットワーク整備

標識や路面標示の設置

大会関係者の公共交通無料化

オリンピック 15万人 x 32日
パラリンピック 7万5,000人 x 23日

車両基地

34万㎡

会場周辺駐車場

38万㎡

※現時点の積算上の数量・人数等

今後の検討事項

公共交通の活用

公共交通を活用することによる経費削減の検討、
公有地の更なる活用の検討

オリンピック・ルート・ネットワーク

標識や路面標示の簡素化に向けて、引き続き精査

広域化に伴う経費増

1/3の会場が東京都以外となることに伴い、
輸送の経費が増加見込み